社団法人 私立大学情報教育協会

平成 20 年度 教育改革 | 丁戦略大会

開催要項

日 時 平成20年9月2日(火)・3日(水)・4日(木)

会場 アルカディア市ヶ谷(東京、私学会館)

東京都千代田区九段北 4-2-25 TEL:03-3261-9921 JR 市ヶ谷駅下車徒歩 2 分

主 催 社団法人私立大学情報教育協会

後援 文部科学省(予定)

開催趣旨 教育

教育改革を促進するため組織的な教育力向上の教育戦略、教育改善効果を高めるIT(情報技術)の活用法について情報提供、授業事例の紹介を行うとともに、教育現場の課題解決を模索するためテーマごとに研究討議する。また、企業の協力を得て事例に即した情報機器、教育支援ソフト等の展示・紹介を行う。

参加対象 国公私立大学・短期大学の教職員、賛助会員

申込方法 Web からの申込み

下記 Web の「参加申込み」ボタンを押し、画面表示に従って入力、送信下さい。

http://www.juce.jp/LINK/taikai/taikai2008.htm

FAX での申込み

別紙の申込用紙に記入の上、送付下さい。 FAX: 03-3261-5473

※申込内容で当協会が取得する個人情報は、次の目的により利用します。「大学名、氏名、所属(学部、部署)」は、当日配布する資料(冊子)に参加者名簿として掲載します。「電子メールアドレス」は、今後の事業案内の連絡先情報として利用します。

申込締切 8月26日(火) ※参加者数に余裕がある場合は締切以降も申込みを受け付けますので、ご一報下さい。

参加費振込 できるだけ8月29日(金)までに振込み下さい。

一括申込みの場合:振込依頼人名には、大学名(社名)の他にできるだけキャンパス名または部署名を入れて下さい。個人申込みの場合:振込依頼人名には、大学名と氏名の両方をできるだけ入れて下さい。

(シャ) シシ゛ョウキョウ (タイカイサンカヒ)

振込先りそな銀行市ヶ谷支店普通0434635(社)私情協(大会参加費)

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14No.1 山崎ビル 4F TEL:03-3261-2798

*振込手数料は申込者各自で負担願います。

*8月29日(金)までのキャンセルは、参加費から振込手数料を差し引いた金額を返金します。<u>それ以降のキャンセル</u>については、資料代(送料含む)、振込手数料、その他実費(情報交流会申込みの場合)を請求させていただき、後日資料を郵送いたしますので、ご了承下さい。

参加費 **3日間参加で割引に!** 加盟校 21,000 円→**18,000** 円 非加盟校 31,500 円→**26,500** 円

9月3日「情報交流会」は別途、下記の参加費が必要です

※参加費はすべて税込金額	9月2日(火)	9月3日(水)	9月3日情報交流会	9月4日(木)
加盟大学・短期大学、賛助会員	7,500 円	6,500 円	5,500 円	7,000 円
非加盟大学·短期大学	11,250 円	9,750 円	5,500 円	10,500 円

*当協会加盟校は右サイトで確認下さい http://www.juce.jp/LINK/kaiin/univ2.htm

問い合わせ・送付先 社団法人私立大学情報教育協会事務局

〒102-0073 千代田区九段北 4-1-14No.1 山崎ビル 4F

TEL:03-3261-2798 FAX:03-3261-5473 E-mail:info@juce.jp (問い合わせ用)

社団法人 私立大学情報教育協会 平成20年度 教育改革 I T戦略大会 プログラム

	9月2日(火)		9月3日 (水)		9月4日 (木)					
参加費	会員:7,500円・非会員11,250円	参加費 会員:6,500円・非会員9,750円 無料				加費 会員:7,000円·非会員10,500円				
会場	3F 富士	会場	5F大雪西 5F大雪東 5F穂高西 6F阿蘇西 6F阿蘇	東 3F富士	会場	5F 大雪	5F穂高	3F富士		
10:30	戸高 敏之 会長(私立大学情報教育協会)		大会発表(82件) 授業改善のための教育へのIT活用や支援 環境について、日頃の取り組み、構想を発 表。(詳細は発表一覧を参照下さい)		10:00	FD、教育システム、初年次教育、学習スキル、学習支援、SI	自由討議 D等をテーマとした、分科会形式による参加者参加型の討議。	10:00		
10.00	「社会の期待に応える大学教育とは 〜学士課程教育の構築に関する答申」	10:00	D A-1 B-1 C-1 D-1 E-1		10.00	●分科会A FD実質化への取り組み	●分科会B 学士力を高める教育システムの試み			
	文部科学省 榎本 剛 氏 (高等教育局高等教育企画課 高等教育政策室長) 大学教育の質保証が求められている中、社会の期待に応える大学	10:20 10:40 11:00 11:10	A 2 B 2 C 3 D 3 E 3 休憩(10分)	11:00	-	本分科会では、FDの実質化を探求するため、教員自身がワークショップなどにより体験するFDの取り組みや(上智大学)、教員が相互に授業を公開してピアレビューする取り組み(流通科学大学)、授業内容の"見える化"による授業改善促進と教員評価の導入(近畿大学)などについて問題提起をいただき、学	本分科会では、学部、学科で身につけなければならない能力 (学士力)の持続可能性を高めるために考えるべき教育シス テムとして、問題発見・解決型学習(PBL)の導入(三重大 学)、学部として必要最低限の知識を確立し学士力を高める 試み(名古屋学院大学)、卒業後に学士力を発揮できるよう能			
	教育とは何か。大学教育で身につけるべき能力に関する国の指針として、文部科学省中央教育審議会でまとめられた学士課程教育の構築に関する答申を踏まえ、大学で取り組むべき課題(学士力の明確化、教育内容・方法の改善、初年次教育等)、国として支援すべき課題について紹介する。	11:30 11:50	A-5 B-5 C-5 D-5 E-5	<u> </u> -		部または学科としての組織的な教育内容、教育方法の改善への対応を探求する。 〈課題提起〉 ・ト智大学	力の持続化を実現するための多元的な成績評価のあり方(田 辺誠氏)について問題提起をいただき、それを踏まえて卒業 後も自立として学士力を発揮できるような対策を模索する。 〈課題提起〉 ・三重大学	展		
12:00	休 憩(60分)	12:10	休 憩 (80分)	- : 		・ 上智人子 山本 浩氏(文学部教授) ・ 近畿大学	・二里八子 高山 進 氏(高等教育創造開発センター 教育開発部門教授)	示		
13:00	事例紹介 「教育改革推進に向けたFD活動」 カリキュラム改革、公開授業と教員研修、学生授業評価、教員自己 評価の実施など、FDおよび学習の支援センターを中心とした具体	13:30 13:50 14:10 14:30	D A-7 B-7 C-7 D-7 E-7 D-8 B-8 C-8 D-8 E-8	· 展		宗像 惠氏(副学長、理工学部教授) ・流通科学大学 南木 睦彦 氏(教育高度化推進センター長)	・名古屋学院大学 児島 完二 氏(経済学部教授) ・神奈川工科大学 田辺 誠 氏(情報教育研究センター所長 機械工学科教授)	会		
	的なFDの取り組みを紹介する。 ・山口大学	14:40 15:00 15:20	D A-10 B-10 C-10 D-10 E-10		12:30 12:4	成小五 山成り	1 内容紹介(15分)			
13:55	小川 勤氏 (大学教育センター教授) ・大同工業大学	15:40 16:00	休 憩(20分)	<u></u> 会	14:00	●分科会C 学習支援組織とSD活動	●分科会D 初年次教育と学習スキルの定着			
14:50	酒井 陽一氏 (授業開発センター長)	16:20 16:40 17:00	D 発表中止 B-13 C-13 D-13 E-13 D 発表中止 B-14 C-14 D-14 E-14			本分科会では、学習支援の一環として学生一人ひとりに対する指導を徹底する組織の重要性について事例を踏まえて紹介するとともに(広島修道大学)、職員として備えるべき改革意	本分科会では、大学の授業に学生が主体的に参加できるよう、学習の動機付け、学習方法、文書表現力などのスキルについて大学としての取り組みや(創価大学)、初年次教育の学習	-		
15:05	体 憩 (15分) 事例紹介 「教育改革支援のためのSD活動」	17:10 17:30	0 A-15 B-15 C-15 D-15 E-15 0 A-16 B-16 C-16 D-16 E-16	17:00		欲、実現のためのプロジェクトチームの結成などSD活動の事例について紹介し(山形大学)、大学として取り組むべき学習支援のあり方を模索する。	スキルの定着を図るための全学的な取り組み(千歳科学技術 大学)について問題提起をいただき、学習法スキルの定着の 可能性を模索する。			
	学校法人立命館本間政雄氏(副総長、大学行政研究・研修センター長) 大学の使命である人材育成に向け、教員と職員が一体となった教育改革を実現できるよう、職員の意識改革、職員として備えるべき企画・運営能力、コミュニケーション能力の育成について実例を踏まえた取り組みを紹介する。	17:50 18:10 18:20	休 憩(10分)	 		<課題提起> ・広島修道大学	<課題提起> ·創価大学 高木 功氏(経済学部教授) ·千歳科学技術大学 小松川 浩氏(光科学部教授)			
16:00	終了	19:00)終了		16:30	地域教育文化子部教授/ 0 終了		16:30		

平成20年度 教育改革IT戦略大会 9月3日(水)発表一覧(83件)

*発表者名は氏名の都合上、発表代表者名のみ掲載しています。 会場は5会場で同時開催します。

1009 A-2 講教養際 Falicacy Perfect Perfe		発表番号	,,,,,	発表タイトル			大学名	
10:20 A 2 議党後 下で大くだったの開発と利用	10:00		講義支援	大人数講義における電子掲示板の活用とその組織的支援	岩崎	千晶	関西大学	
11:00 A	10:20	A-2	講義支援	Felicaを用いた出席管理システムの開発と試用	大見	嘉弘	東京情報大学	1
11110 4	10:40	A-3	講義支援	コースウェアとコールシステムを併用した講義システムの効果	小無	啓司	流通科学大学	1
13:103	11:00							
19.50	11:10							
13:50 A-6 学書支援 Wiki+Moordisによる技業支援機の情態 両呼 能 矩阵大学 5-1		A-5	講義支援		小林	貴之	日本大学	
18:30								
15:50 A-7 学界支援 学生の予によるWiki-イース自己学習支援サイルの制作 接原 Re 旧の大学 14:30 14:40 A-9 学別支援 20 20 20 20 20 20 20 2								
14:40 本書 学生女主 学生のためのホームページ作成常業常能に成果 実施 土 新書 計画 大学 学生支援 コンアンツ登録が召募上で、カイブスタテムの精楽 片四 紫木 京本 東本大学 当20 27:22 27:								
株 (株 (1999) 1940 1947 1947 1947 1947 1947 1948 1947 1947 1947 1948 1947 1947 1947 1948	13:50			学生の手によるwikiベース自己学習支援サイトの制作	篠原	紀幸	山口大学	
14:00 2-49 学育支援 コンプングを飲み受容易で カルド・作成女優と次チムのが高後 片面 教 東海大学 西 15:00 A-10 多子及 アール・ドワークにおいるか 小作成女優と次チムの条後 上京 本書 本書 本書 本書 本書 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大	14:10	A-8	学習支援	学生のためのホームページ作成環境整備と成果	渡邊	壮一	新潟工科大学	F
15:09				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·				大
18-20				コンテンツ登録が容易なアーカイブシステムの構築				雪
19-90								西
16:00	15:20	A-11	学習支援		三好	孝治	広島工業大学	
5.20				= 1 - 11				
2.74				携帯電話を利用した回収不要出席カードシステム	岡田	良明	三重中京大学	
17:90								
19:10		A-14		発表中止				
17:30 A-17 接帯電話 紅語改善への試み - 携帯電話を使った学育支援ツールを活用して 影山								1
17:50				携帯電話による小テスト自習システムの試作				
17:50				私語改善への試みー携帯電話を使った学習支援ツールを活用してー				
19-29 19-22 地域活性化を目的とした地域音源の映像コンテンツ制作とその指導方法 横尾 該 会選大学短期大学部 19-29 19-2				携帯電話を用いた授業支援システム(双方向型授業支援)				<u> </u>
19-04 19-05 19-10 19-05 19						正利		
11:10 8-4 遠隔授業	10:20	B-2	教育方法	地域活性化を目的とした地域資源の映像コンテンツ制作とその指導方法	横尾	誠	会津大学短期大学部	
11:30 B-4 遠隔侵棄 二大学間における双方向授業の読み 按原 順子 神戸女子大学 11:30 B-5 遠隔侵棄 海外研究拠点を基点として国際遠隔授業の実践 武藤 博已 法政大学 11:30 B-5 遠隔侵棄 海外研究拠点を基点として国際遠隔授業の実践 武藤 博已 法政大学 12:10 休 意(m分) 依 意(m分) 12:10 休 意(m分) 13:30 B-6 ラーニング 浮入前における6ラーニングに対する教員の意識調査 九田 英徳 長崎大学 13:30 B-6 ラーニング 子教員の教授学習識とLMS利用の関係に関する考察 田中 俊也 関西大学 14:40 B-9 のラーニング インターネットによる英単語学習システム"ネッ単"の改良 第6 年 全大学 日本大学 14:40 B-9 のラーニング インターネットによる英単語学習システム"ネッ単"の改良 第6 年 条 第 日本大学 月 本 大学 日本大学 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	10:40	B-3	教育方法	Moodleによる国際ビジネスゲームのサポート	韓尚	前秀	大阪国際大学	
11:30	11:00			休 憩(10分)				
12:10	11:10	B-4	遠隔授業	二大学間における双方向授業の試み	安原	順子	神戸女子大学	
13:30 B-6	11:30	B-5	遠隔授業		武藤	博己	法政大学	
3-350 B-6 e7-==ング 漢入前における6ラー=ングに対する教員の意識書室 丸田 英徳 長崎大学 14:10 B-8 e7-==ング 大学教員の教授学習観とLMS利用の関係に関する考察 印中 俊也 関西大学 月14:10 B-8 e7-==ング 大学教員の教授学習観とLMS利用の関係に関する考察 印中 俊也 関西大学 月14:10 B-8 e7-==ング イーテー=ングコミュニティサイトの形成に関する考察・互いに教えあう学び空間へ 森 洋寛 金沢大学 子報 日本大学 日本大学 日本 日本大学 日本 日本大学 日本 日本 日本大学 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	11:50			展示会 出展内容紹介(20分)				
13:50 B-7 eラーニング 大学教員の教授学習観とLMS利用の関係に関する考察 田中 俊地 関西大学 14:10 B-8 eラーニング イーラーニングコミュニティナイトの形成に関する研究へ互いに教えあう学び空間 森 祥寛 金沢大学 下大 大学 大学 大学 大学 大学 大学	12:10							
14:10	13:30		eラーニング	導入前におけるeラーニングに対する教員の意識調査				
4:40 8-9 cラーニング インターネットによる英単語学習システム、アネッ単"の改良 葉島 千歌 日本大学 下部 日本大学 日本大学 日本 日本大学 日本 日本大学 日本大学 日本 日本大学 日本大学 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日本 日	13:50							
15:20 8-10 ラーニング セーニング クーニング普及へ向けた自学自習用オープンコースの作成 西田 孝祥 長崎大学 15:20 8-11 マラーニング 全人的教養教育を支援するe-learningシステムSPES NOVAの運用 佐藤 喜-邮 東京理科大学 16:20 8-13 マラーニング 担当授業におけるBラーニング - ICT活用のリメディアル教育 - 川端 淑子 山陽学園大学 市場 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中	14:10	B-8	eラーニング		森 袀	作寛	金沢大学	F
15:20 8-10 ラーニング セーニング クーニング普及へ向けた自学自習用オープンコースの作成 西田 孝祥 長崎大学 15:20 8-11 マラーニング 全人的教養教育を支援するe-learningシステムSPES NOVAの運用 佐藤 喜-邮 東京理科大学 16:20 8-13 マラーニング 担当授業におけるBラーニング - ICT活用のリメディアル教育 - 川端 淑子 山陽学園大学 市場 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中国 中								大
15:20 B-11 eラーニング 全人的教養教育を支援するe-learningシステムSPES NOVAの運用 佐藤 喜-郎 東京理科大学 株 徳(20分) 株 徳								雪
15:40 株 徳(20分) 担当授業におけるBラーニングーICT活用のリメディアル教育								東
16:00 B-12 eラーニング 担当授業におけるBラーニングーICT活用のリメディアル教育		B-11	eラーニング		佐藤	喜一郎	東京理科大学	
16:20 B-13 ラーニング eラーニングを活用した予習・復習の徹底による授業の実質化 日置 慎治 帝塚山大学 16:40 B-14 eラーニング サイバーキャンパスを支えるLMS「MOMOTARO」の開発 大西 正 両山理科大学 17:00 R 題(10分)								
16:40 B-14 eラーニング サイバーキャンパスを支えるLMS「MOMOTARO」の開発 大西 荘一 岡山理科大学 17:00 B-15 eラーニング 薬学領域のヒューマニズム教育におけるITS用と学びのふり返り 飯島 史朗 皮應義塾大学 17:30 B-16 eラーニング 初年次セミナー運営におけるmoodle利用 矢島 彰 大阪国際大学 17:30 B-17 eラーニング 初年次セミナー運営におけるmoodle利用 矢島 彰 大阪国際大学 17:30 B-17 eラーニング 教育効果の向上を目指すプレンディッドラーニングの開発と実施 伊東 俊彦 東北大学 10:00 C-1 高大連携 情報教育からキャリア教育へ一高大連携・足よる接続教育プログラム 小棹 理子 湘北短期大学 11:00 休 趣(10分) 11:10 C-5 情報サテラシ 大学入学時のデジタルディバド 展示会出展内容紹介(20分) 株 趣(10分) 11:30 C-5 情報リテラシ 短期大学における情報教育カリキュラム改定の検証 杉野 真紀 成蹊大学 11:50 展示会出展内容紹介(20分) 株 趣(10分) 13:30 C-6 情報リテラシ 短期大学における情報教育カリキュラム改定の検証 杉野 真紀 地坊短期大学 13:30 C-6 情報リテラシ 恒報財・デシン 世報・日の実施評価と企業要求レベルの比較分析 福垣 充廣 愛知学院大学 14:30 C-8 情報リテラシ 薬学生のヒューマニズム醸成を目指した情報科学教育の実践 石川 徹 国際医療福祉大学 14:30 日報リテラシ 東学生のヒューマニズム醸成を目指した情報科学教育の実践 石川 徹 国際医療福祉大学 14:40 C-9 情報リテラシ 薬学生のヒューマニズム醸成を目指した情報科学教育の実践 石川 徹 国際医療福祉大学 14:40 C-9 情報リテラシ 東学生のヒューマニズム醸成を目指した情報科学教育の実践を通して~ 山田 和人 同志社大学 15:40 C-12 SNS SNSによる学習コミュニティ形成 龍 昌治 愛知大学短期大学部 16:40 C-12 SNS SNSによる学習コミュニティ形成 龍 昌治 愛知大学短期大学部 16:40 C-14 学生情報 サイバーキャンパスコミュニケーション理間の構築 寺本 卓史 城西国際大学 明治薬科大学 17:00 株 趣(10分) 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学國大学販井を知					川端			
17:00 8-15 eラーニング 薬学領域のヒューマニズム教育におけるIT活用と学びのふり返り 飯島 史朗 慶應義塾大学 17:30 8-16 eラーニング 初年次セミナー運営におけるmoodle利用 矢島 彰 大阪国際大学 下55 8-17 eラーニング 教育効果の向上を目指すプレンディッドラーニングの開発と実施 伊東 後彦 東北大学 10:00 C-1 高大連携 高等学校教科「情報」の実施状況と情報教育について 中尾 剛 いわき明星大学 10:00 C-2 高大連携 情報教育からキャリア教育へ一高大連携による接続教育プログラム 小棹 理子 湘北短期大学 10:40 C-3 高大連携 ロボットとITを活用した中高大連携・理工系学習意欲向上の取り組み 内木場 文男 日本大学 11:30 C-5 情報リテラシ 大学入学時のデジタルディバイド 優永 (10分) 展示会 出展内容紹介 (20分) 振動・大学 乗車大学 乗車大学								
17:10			eラーニング		大西	荘一	岡山理科大学	
17:30 B-16 eラーニング 初年次セミナー運営におけるmoodle利用 矢島 彰 大阪国際大学 大阪国際大学 大阪国際大学 大阪国際大学 大阪国際大学 大阪国際大学 大阪国際大学 京シーニング 高等学校教科「情報」の実施状況と情報教育について 中尾 剛 いわき明星大学 市報教育からキャリア教育へ一高大連携による接統教育プログラム 内木場 文男 日本大学 旧本大学 日本大学			-					
17:50 B-17 eラーニング 教育効果の向上を目指すプレンディッドラーニングの開発と実施 伊東 俊彦 東北大学 10:00 C-1 高大連携 高等学校教科「情報」の実施状況と情報教育について 中尾 剛 いわき明星大学 10:20 C-2 高大連携 情報教育からキャリア教育へ一高大連携による接続教育プログラム 小棹 理子 湘北短期大学 11:00 「根数子からキャリア教育へ一高大連携・理工系学習意欲向上の取り組み 内木場 文男 日本大学 11:00 「根類リテラシ 大学入学時のデジタルディバイド 愛沢 祥子 東洋大学 東洋大学 東洋大学 11:30 C-5 情報リテラシ 新入生全員に対する導入教育(終日集中による情報リテラシ教育) 恵良 和代 成蹊大学 11:50 「根類リテラシ 振列大学における情報教育カリキュラム改定の検証 杉野 真紀 池坊短期大学 12:10 「根類リテラシ 恒期大学における情報教育カリキュラム改定の検証 杉野 真紀 池坊短期大学 13:50 C-6 情報リテラシ 恒期大学における情報教育カリキュラム改定の検証 杉野 真紀 池坊短期大学 13:50 C-7 情報リテラシ 情報基礎科目の実施評価と企業要求レベルの比較分析 稲垣 充廣 愛知学院大学 14:30 「根類リテラシ 東学生のセューター利用の現状とコンピュータリテラシー教育 石川 徹 国際医療福祉大学 14:30 「根類リテラシ 東学生のセューマニズム醸成を目指した情報科学教育の実践 石川 さと子 慶應義塾大学 14:40 C-9 情報リテラシ 東学生のセューマニズム醸成を目指した情報科学教育の実践 石川 さと子 慶應義塾大学 14:30 「根類リテラシ 文ポーツにおける競技力向上のためのITリテラシープログラム開発 東木 一博 仙台大学 15:20 C-10 情報リテラシ ヌボーツにおける競技力向上のためのITリテラシープログラム開発 東木 一博 仙台大学 16:40 C-12 SNS SNSによる学習コミュニティ形成 像 2(20分) 16:00 C-12 SNS SNSによる学習コミュニティ形成 5NSを用いた学部運営 広範なコミュニケーション空間の構築 寺本 卓史 城西国際大学 16:40 C-14 学生情報 サイバーキャンパスコミュニケーション強能 棟田 第子 中村学願大学短期大学部 株 20(10分) 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部 17:10 C-15 学生情報 2000年]
10:00 C-1 高大連携 高等学校教科「情報」の実施状況と情報教育について 中尾 剛 いわき明星大学 情報教育からキャリア教育へ一高大連携による接続教育プログラム 小棹 理子 湘北短期大学 旧北短期大学 日本大学 日本大学								
10:20 C-2 高大連携 情報教育からキャリア教育へ一高大連携による接続教育プログラム 小棹 理子 湘北短期大学 10:40 C-3 高大連携 ロボットとITを活用した中高大連携・理工系学習意欲向上の取り組み 内木場 文男 日本大学 11:00 休 意(10分)								
10:40 C-3 高大連携								
11:00								
11:10		C-3	高大連携		内木場	文男	日本大学	
11:30 C-5 情報リテラシ 新入生全員に対する導入教育(終日集中による情報リテラシ教育) 惠良 和代 成蹊大学 根			tale to example		··	177 =		
11:50 展示会 出展内容紹介(20分) 12:10 休憩(80分) 13:30 C-6 情報リテラシ 短期大学における情報教育カリキュラム改定の検証 杉野 真紀 池坊短期大学 13:50 C-7 情報リテラシ 情報基礎科目の実施評価と企業要求レベルの比較分析 稲垣 充廣 愛知学院大学 14:10 C-8 情報リテラシ 医療系大学1年生のコンピューター利用の現状とコンピュータリテラシー教育 石川 微 国際医療福祉大学 14:30 休憩(10分) 14:40 C-9 情報リテラシ 薬学生のヒューマニズム醸成を目指した情報科学教育の実践 石川 さと子 慶應義塾大学 15:00 C-10 情報リテラシ スポーツにおける競技力向上のためのITリテラシープログラム開発 栗木 一博 仙台大学 15:20 C-11 SNS 学習意欲を誘発するSNSの開発と運用~PBL教育の実践を通して~ 山田 和人 同志社大学 15:40 休憩(20分) 16:00 C-12 SNS SNSによる学習コミュニティ形成 龍 昌治 愛知大学短期大学部 16:20 C-13 SNS SNSによる学習コミュニティ形成 龍 昌治 愛知大学短期大学部 16:20 C-14 学生情報 サイバーキャンパスコミュニケーション機能 植沢 芳広 明治薬科大学 17:00 休憩(10分) 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部								
12:10 休憩(80分) 13:30 C-6		C-5	情報リテラシ		惠良	和代	成蹊大学	
13:30 C-6 情報リテラシ 短期大学における情報教育カリキュラム改定の検証 杉野 真紀 池坊短期大学 13:50 C-7 情報リテラシ 情報基礎科目の実施評価と企業要求レベルの比較分析 稲垣 充廣 愛知学院大学 14:10 C-8 情報リテラシ 医療系大学1年生のコンピューター利用の現状とコンピュータリテラシー教育 石川 徹 国際医療福祉大学 14:30 株 憩(10分) 14:40 C-9 情報リテラシ 薬学生のヒューマニズム醸成を目指した情報科学教育の実践 石川 さと子 慶應義塾大学 15:00 C-10 情報リテラシ スポーツにおける競技力向上のためのITリテラシープログラム開発 粟木 一博 仙台大学 15:20 C-11 SNS 学習意欲を誘発するSNSの開発と運用~PBL教育の実践を通して~ 山田 和人 同志社大学 15:40 株 憩(20分) 16:00 C-12 SNS SNSによる学習コミュニティ形成 龍 昌治 愛知大学短期大学部 16:20 C-13 SNS SNSを用いた学部運営 一広範なコミュニケーション空間の構築 寺本 卓史 城西国際大学 16:40 C-14 学生情報 サイバーキャンパスコミュニケーション機能 植沢 芳広 明治薬科大学 17:00 株 憩(10分) 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部 16:20 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 根田 鈴子 中村学園大学短期大学部 17:10 C-15 学生情報 20:20 2								
13:50 C-7 情報リテラシ 情報基礎科目の実施評価と企業要求レベルの比較分析 稲垣 充廣 愛知学院大学 14:10 C-8 情報リテラシ 医療系大学1年生のコンピューター利用の現状とコンピュータリテラシー教育 石川 徹 国際医療福祉大学 14:30							N	
13:50 C-7 情報リテラン 情報基礎科目の美施評価と企業要求レヘルの比較分析 福垣 九廣 愛知学院大学 14:10 C-8 情報リテラン 医療系大学1年生のコンピューター利用の現状とコンピュータリテランー教育 石川 徹 国際医療福祉大学 14:30 株 憩(10分) 14:40 C-9 情報リテラン 薬学生のヒューマニズム醸成を目指した情報科学教育の実践 石川 さと子 慶應義塾大学 15:00 C-10 情報リテラン スポーツにおける競技力向上のためのITリテラシープログラム開発 栗木 一博 仙台大学 15:20 C-11 SNS 学習意欲を誘発するSNSの開発と運用~PBL教育の実践を通して~ 山田 和人 同志社大学 15:40 株 憩(20分) 16:00 C-12 SNS SNSによる学習コミュニティ形成 龍 昌治 愛知大学短期大学部 16:20 C-13 SNS SNSを用いた学部運営 一広範なコミュニケーション空間の構築 寺本 卓史 城西国際大学 16:40 C-14 学生情報 サイバーキャンパスコミュニケーション機能 植沢 芳広 明治薬科大学 17:00 株 憩(10分) 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部 16:20 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部 17:10 C-15 学生情報 25:20 2								5
14:10 C-8 情報リテラシ 医療系大学1年生のコンヒューター利用の現状とコンヒュータリアラシー教育 石川 徹 国際医療福祉大学 14:30								
14:40 C-9 情報リテラシ 薬学生のヒューマニズム醸成を目指した情報科学教育の実践 石川 さと子 慶應義塾大学 15:00 C-10 情報リテラシ スポーツにおける競技力向上のためのITリテラシープログラム開発 栗木 一博 仙台大学 日本 一		C-8	情報リテラシ		石川	徹	国際医療福祉大学	種
14:40 C-9 情報リテラン 菓字生のピューマニスム醸成を目指した情報科字教育の美践 右川 さとチ 慶應義型大字 15:00 C-10 情報リテラン スポーツにおける競技力向上のためのITリテラシープログラム開発 粟木 一博 仙台大学 15:20 C-11 SNS 学習意欲を誘発するSNSの開発と運用~PBL教育の実践を通して~ 山田 和人 同志社大学 15:40 休 憩(20分) 16:00 C-12 SNS SNSによる学習コミュニティ形成 龍 昌治 愛知大学短期大学部 16:20 C-13 SNS SNSを用いた学部運営 一広範なコミュニケーション空間の構築 寺本 卓史 城西国際大学 16:40 C-14 学生情報 サイバーキャンパスコミュニケーション機能 植沢 芳広 明治薬科大学 17:00 休 憩(10分) 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部		-	1+400				pulse pulse May what I We	高
15:00 C-10 情報リテラシ スポーツにおける競技カ同上のためのITリテラシープログラム開発 栗木 一博 仙台大学 15:20 C-11 SNS 学習意欲を誘発するSNSの開発と運用~PBL教育の実践を通して~ 山田 和人 同志社大学 15:40 休 憩(20分) 16:00 C-12 SNS SNSによる学習コミュニティ形成 龍 昌治 愛知大学短期大学部 16:20 C-13 SNS SNSを用いた学部運営 一広範なコミュニケーション空間の構築 寺本 卓史 城西国際大学 16:40 C-14 学生情報 サイバーキャンパスコミュニケーション機能 植沢 芳広 明治薬科大学 17:00 休 憩(10分) 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部								
15:40休憩(20分)16:00 C-12 SNSSNSによる学習コミュニティ形成龍 昌治 愛知大学短期大学部16:20 C-13 SNSSNSを用いた学部運営 -広範なコミュニケーション空間の構築 - 寺本 卓史 城西国際大学16:40 C-14 学生情報サイバーキャンパスコミュニケーション機能植沢 芳広 明治薬科大学17:00休憩(10分)17:10 C-15 学生情報総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部								_
16:00 C-12 SNS SNSによる学習コミュニティ形成 龍 昌治 愛知大学短期大学部 16:20 C-13 SNS SNSを用いた学部運営 - 広範なコミュニケーション空間の構築 - 寺本 卓史 城西国際大学 16:40 C-14 学生情報 サイバーキャンパスコミュニケーション機能 植沢 芳広 明治薬科大学 17:00 休 憩(10分) 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部		C-11	SNS		川田	和人	同志社大学	
16:20 C-13 SNS SNSを用いた学部運営 一広範なコミュニケーション空間の構築 寺本 卓史 城西国際大学 16:40 C-14 学生情報 サイバーキャンパスコミュニケーション機能 植沢 芳広 明治薬科大学 17:00 休 憩(10分) 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部			0.10	= 1 111		1 1/	~ t. 1 M/→ II- 1 M ·	1
16:40 C-14 学生情報 サイバーキャンパスコミュニケーション機能 植沢 芳広 明治薬科大学 17:00 休 憩(10分) 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部								
17:00 休憩(10分) 17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部								
17:10 C-15 学生情報 総合的キャリア教育を支援する情報管理システムの開発と運用 梶田 鈴子 中村学園大学短期大学部		C-14	学生情報		植沢	芳広	明治薬科大学	
17:30 C-16 学生情報 学生カルテシステムによる初年次教育の充実 中田 美喜子 広島女学院大学								
	17:30	C-16	学生情報	字生カルテシステムによる初年次教育の充実	中田	美喜子	広島女学院大学	J

	発表番号	分野	発表タイトル	発表代	表者名	大学名	
10:00		統計系	相関分析と回帰分析学習支援e-ラーニングコンテンツの開発	服部	雄一	甲南大学	
		統計系	シミュレーションベースの統計学 eラーニング教材の開発と教育実践	小波		京都女子大学	
		統計系	表計算ソフトとWebを用いた確率分布シミュレーション教材		清	尚絅学院大学	
11:00			休 憩(10分)			7 7 17 7 17 27 1 7	
	D-4	生活·教育系	コミュニケーションツールとしてのタブレットPC活用	別宮	玲	戸板女子短期大学	
11:30			芸術大学保育系学部におけるオープンキャンパス連携Webコンテンツの制作		智也	名古屋芸術大学	
11:50			展示会 出展内容紹介(20分)	,			
12:10			休 憩(80分)				
		人文·芸術系	電子教材を用いた美術教育の試み	野津	義輝	武庫川女子大学	
			ネットワーク時代の価値軸と源氏物語			実践女子大学	6
14:10			ヨーロッパの服飾文化とそのデータベース化に関する研究	菅野		東京家政大学	F
14:30			休 憩(10分)			<u> </u>	冏
		医学•看護系	病理診断学へのバーチャルスライド導入と自主学習支援プログラム	佐藤	かおり	日本歯科大学	蘇
			健康増進を支援する水中療法士の提案と可視化e-learningシステムの開発と評価			城西短期大学	西
			e-learningによる救急看護実践能力の育成-救急隊・ER連携での事例提供-		カズヨ	聖マリア学院大学	
15:40			休 憩(20分)				
16:00	D-12	語学系	Web利用の技術英語学習サポートシステム	和高	慶夫	玉川大学	
		語学系	ITを活用した多次元的英語教材プレゼンテーション	松浦		太成学院大学	
		語学系	教員自前のPowerPointによる基礎英文法教材	中村		帝京大学	
17:00			休 憩(10分)				
17:10	D-15	映像教材	screenshot capturing tool による教材作成	石川	高行	大阪国際大学	
		映像教材	商用3DCGソフトによる教材映像ジェネレータの開発	下條	善史	大阪国際大学	
17:50	D-17	映像教材	受講学生が随時利用できる講義DVDの作製、貸出しによる学習支援	田中丸	上 治宣	静岡県立大学短期大学部	
10:00	E-1	システム運用	情報演習室環境におけるコンピュータの効率的な整備手法	井上	清一	金沢星稜大学	
10:20	E-2	システム運用	オンデマンド・アプリケーション配信、シンクライアントによる教育用PC環境の構築	竹内	潔	北海学園大学	
10:40	E-3	システム運用	OSSP方式によるパソコンレス情報処理教室の構築運用	大本	英徹	京都産業大学	
11:00			休 憩(10分)				
11:10			コース管理システムを開講当初から利用可能にする教員向けサービス	古川		帝京大学	
11:30	E-5	システム運用	ホスティング型アプリケーションサービスを有効に利用した学生サービス提供について	大隣	昭作	西日本短期大学	
11:50			展示会 出展内容紹介(20分)				
12:10			休 憩(80分)				
13:30		情報系	プログラミング教育に統計学教育を織り込んだ授業の実践			比治山大学	
13:50		情報系	実習型マルチメディア基礎技術教育-表計算ソフトウェアの活用を通じて-	神谷		京都創成大学	6
14:10	E-8	情報系	Web環境を利用した協調形3Dグラフィックス教育支援システムの試作	高山	文雄	いわき明星大学	F
14:30			休 憩(10分)				冏
14:40	E-9	情報系	UMLとJavaの統合によるオブジェクト指向ソフト開発スキルの考察	加藤	武信	城西大学	蘇
15:00		情報系	プロジェクトマネジメント学習のための教材運用と管理	岸川	洋	九州情報大学	東
15:20		情報系	集合教育における地理情報教育の実践	西尾	雅弘	久留米工業大学	
15:40			休 憩(20分)				
		理工系	微積分を視覚的に学ぶことで期待される効果について	山本		日本大学	
		理工系	パソコン活用による数学定理の発見	渡辺	信	東海大学	
		理工系	幾何学の対話型教材の作成	佐藤	宏一	北海道工業大学	
17:00			休 憩(10分)				
		理工系	TeX描画のための数式処理マクロパッケージKETpicを用いた数学教材作成	高遠	節夫	東邦大学	
		理工系	物理学とプログラミングを連携させた演習授業の設計	高見	友幸	大阪電気通信大学	
17:50	E-17	理工系	電気工学実験VOD教育支援教材の開発と実践	古川	輝雄	広島工業大学	

平成20年度 **教育改革IT戦略大会 参加申込用紙**

連絡代表者

大学名・社名	部署名					担当者名		
	連絡先	大 学	自宅	会 社	TEL		FAX	
	住 所	Ŧ						

領収書 8月29日振込分まで当日名札に付けてお渡しし、以降は連絡代表者に郵送します。

宛 名 : 個人名 • 大学名(社 名)

金 額(複数名申込みの場合): 参加者人数分まとめて一括 ・ 参加者ごとに1枚ずつ記入

3日間参加すると、割引になります

加盟校 21,000円→18,000円 非加盟校 31,500円→26,500円 ※1

※1 9月3日「情報交流会」は別途、参加費(5,500円)が必要です

※2 電子メールアドレスは、当協会のイベント案内に利用し、目的以外の利用もしくは第三者提供はいたしません。

参加費一覧表

参加日数	0 H 2 D	9月3日	情報交流会	9月4日	合計(円)		
少加口致	3Л2Ц	олоц	旧形人派ム	3740	会員校	非会員校	
0 🗆 🖽	0	0	0	0	23,500	32,000	
3日間	0	0		0	18,000	26,500	
	0	0	0		19,500	26,500	
	0	0			14,000	21,000	
2日間	0		0	0	20,000	27,250	
스니바	0			0	14,500	21,750	
		0	0	0	19,000	25,750	
		0		0	13,500	20,250	
	0		0		13,000	16,750	
	0				7,500	11,250	
1日		0	0		12,000	15,250	
		0			6,500	9,750	
			0	0	12,500	16,000	
			·	0	7,000	10,500	

氏 名	所属・役職名	9月2日	9月	3日	情報交流会 (9月3日)	9月	4日	合計金額	
Д 4	E-mail ^{*2}		該当する金額に〇をつけ、3日、4日については、「主に参加する」グループや 分科会にも〇をつけて下さい。当日、グループや分科会の移動は自由です。						
		会 員:7,500円	会 員:6,500円	A ·B ·C	会 員:5,500円	会 員:7,000円	午前: A • B		
		非会員:11,250円	非会員:9,750円	D·Ε	非会員:5,500円	非会員:10,500円	午後: C • D	円	
		会 員:7,500円	会 員:6,500円	A ·B ·C	会 員:5,500円	会 員:7,000円	午前: A • B		
		非会員:11,250円	非会員:9,750円	D·Ε	非会員:5,500円	非会員:10,500円	午後: C・D	円	
		会 員:7,500円	会 員:6,500円	A ·B ·C	会 員:5,500円	会 員:7,000円	午前: A • B		
		非会員:11,250円	非会員:9,750円	D·Ε	非会員:5,500円	非会員:10,500円	午後: C • D	円	
		会 員:7,500円	会 員:6,500円	A ·B ·C	会 員:5,500円	会 員:7,000円	午前∶ A ▪ B		
		非会員:11,250円	非会員:9,750円	D·Ε	非会員:5,500円	非会員:10,500円	午後: C・D	円	
		会 員:7,500円	会 員:6,500円	A ·B ·C	会 員:5,500円	会 員:7,000円	午前: A • B		
		非会員:11,250円	非会員:9,750円	D·Ε	非会員:5,500円	非会員:10,500円	午後: C ・D	円	

合 計 円